

厚木北高校
普通科・専門学科併置校
設置計画

平成28年10月

神奈川県教育委員会

1 対象校・位置・実施年度

- (1) 対象校 厚木北高等学校
- (2) 位置 厚木北高等学校敷地 (厚木市下荻野 8 8 6)
- (3) 実施年度 平成 2 9 年度

2 設置の目的

これまで普通科専門コースとして取り組んできた教育活動を継承・発展させ、スポーツにかかる資質・能力の育成や健康保持・増進に向けた科学的な探究など、スポーツの専門的な内容を深く学び、高度な知識や技能の習得を促し、生徒の個性を伸ばすことで、社会の中で主体的に行動できる人材を育成することを目的としてスポーツ科学科を設置する。

スポーツ科学科の併置により、学習や進路について普通科と相互の融和を図る。

3 基本的コンセプト

学年制による全日制普通科と専門学科とを併置する県立高校として教育を展開する。

普通科、スポーツ科学科併置による全体として調和のとれた教育活動の展開
学校の創意工夫をいかし、併置をいかした相互履修できる教育課程により、高い学力を身に付けさせるとともに、部活動を通してスポーツや文化及び科学等に親しませ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等に取り組み、思考力、判断力、表現力、自律性、規律性、社会性、人間性などを育み、社会の中で主体的に行動できる資質を身に付けさせる教育を展開する。

生徒の学力向上と主体的な学びを引き出す教育活動の展開

普通科、スポーツ科学科ともに、共通教科の学習を充実させ、基礎学力の確実な定着と学力向上を図るとともに、生徒の主体的な学びを引き出す教育を展開する。

体育分野に関する特色ある教育活動の展開

スポーツ科学科は、健やかな心身を育み、生涯を通してスポーツの振興・発展の担い手となれるよう、スポーツについての科学的・専門的な理解及び高度な知識や技能の習得をめざした教育を展開する。

普通科においては、体育の授業において運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、健やかな心身を育み、生涯を通してスポーツに親しむ態度を育成する教育を展開する。

大学等の外部機関との連携教育の推進

スポーツ科学科においては、大学等の外部との連携教育の推進によりスポーツについての科学的・専門的な理解及び高度な知識や技能の習得をめざし、大学等での研究への参加や授業の受講などによりスポーツの科学的研究を推進し、課題研究の成果である卒業研究発表の充実を図る。

普通科においては、大学等の外部との連携教育の推進により、専門分野に関する学習活動の充実を図り、大学等での授業の受講などを通して、自分が進む専門分野への理解を深め、学習に向かう意欲の向上を図る。

普通科とスポーツ科学科との併置をいかした、相互の科目を履修できる教育課程の編成

普通科の生徒がスポーツ科学科の専門科目の一部を履修可能とすることで充実した環境のもとでスポーツに親しみ、個性を伸ばすことができ、スポーツ科学科の生徒が、幅広い進路希望の実現に向けて共通教科・科目の学習を充実・深化させることができる教育課程を編成する。

地域のスポーツ振興を図り、地域スポーツの拠点となる教育活動の展開

学校の部活動と地域のスポーツ活動との交流を通して、地域のスポーツの拠点となる学校づくりを行う。

4 設置形態

- | | |
|--------|--------------------------|
| (1) 課程 | 全日制の課程 |
| (2) 学科 | 普通科
スポーツ科学科（体育に関する学科） |

- (3) 学校規模 全日制の課程 840～960名(21～24学級規模程度)
 普通科 720～840名(各学年240～280名 6～7学級規模程度)
 スポーツ科学科 120名(各学年40名 1学級規模程度)
 学級規模は予定であり、入学定員の発表時に確定

- (4) 修業年限 3年
 (5) 学 期 3学期制
 (6) 履修形態 学科ごとの科目履修及び選択科目の科目選択
 (7) 授業展開 50分6限を基本とし、必要に応じて弾力的な授業時間を設定
 <日課表> (予定)

		(月)～(金)
ショートホームルーム		8:40～8:45
1	校 時	8:50～9:40
2	校 時	9:50～10:40
3	校 時	10:50～11:40
4	校 時	11:50～12:40
昼 休 み		12:40～13:20
5	校 時	13:25～14:15
6	校 時	14:25～15:15
ショートホームルーム		15:15～15:20

5 入学者選抜

- (1) 募集の区分 一般募集(中学校卒業見込み者及び中学校既卒業者)
 (2) 選抜の区分 共通選抜
 (3) 選考の方法 事前に公表した「公立高等学校入学者選抜選考基準」に基づいて、選考する。

6 教育課程

- (1) 基本的方針
 高等学校在籍3年以上で、必履修科目を履修し、高等学校学習指導要領に基づいて学校において定めた単位を修得することで卒業とする。

専門教育に関する教科・科目の履修については、25単位を下らないこととする。

(2) 教育展開の方針

スポーツ科学科において、体育に関する応用・発展的な科目などを設置し、一人ひとりの学習ニーズ、進路希望に応えることを可能とする。

普通科とスポーツ科学科との併置をいかし、相互の科目を履修できる教育の展開と地域特性をいかした教育を展開する。

数学・英語においては、確実な基礎基本の習得の上に、高度な学力の養成を図るための授業展開を実施する。

一人ひとりの興味・関心、進路希望などに応じて、科目を選択して学ぶことが可能となるよう配慮する。

地域の特性を活用した県立高校生学習活動コンソーシアムによる教育を展開する。

(3) 編成の方針

必修科目、学科専門科目、選択科目、総合的な学習の時間等の領域で教育課程を構成する。

一人ひとりの進路希望や興味・関心に対応するため、スポーツ科学科の専門科目には、基礎的な科目から発展的な科目まで、幅広く設置するとともに、普通科、スポーツ科学科ともに幅広い進路選択に対応した科目を設置する。

県立高校生学習活動コンソーシアムの活用など、学校外での学習成果による単位認定を行う。

集中講座など、柔軟な履修形態による学習活動を展開する。

(4) 教育課程表 (予定)

普通科

単位数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
第1学年	国語総合			現代社会	数学		数学A		物理基礎	生物基礎	体育		保健	音楽 /書道	コミュニケーション 英語		英語表現	家庭基礎	総合的な 学習の 時間		L H R									
第2学年	文系	現代文B	古典B	世界史B /日本史B	日本史A /世界史A	数学		化学基礎	体育		保健	コミュニケーション 英語		英語総合	必選A	総合的な 学習の 時間		L H R												
	理系	現代文B	世界史A	数学		数学B	化学基礎	化学基礎 研究	物理基礎研究 /生物基礎研究	体育		保健	コミュニケーション 英語		必選A	総合的な 学習の 時間		L H R												
第3学年	文系	現代文B	古典B	発展世界史 /発展日本史 /地理B		政治・経済	体育	コミュニケーション 英語	英語表現	社会と 情報	国語表現 /発展英文読解 /スポーツ概論	必選C	必選B	総合的な 学習の 時間		L H R														
	理系	現代文B	日本史A	数学 /数学研究		発展 数学	物理/化学/生物	体育	コミュニケーション 英語	英語表現	社会と 情報	必選B	総合的な 学習の 時間		L H R															

必選A (普通科文系)

数学B、時事問題研究、音楽、書道、子どもの発達と保育、専攻実技

必選A (普通科理系)

英語総合、専攻実技

必選B (普通科文系)

国語表現、国語研究、日本史A、社会研究、英語研究、フードデザイン、
専攻実技

必選B (普通科理系)

数学探究B、物理探究、化学探究、生物探究、専攻実技

必選C (普通科文系)

古典B、国語研究、日本史研究、世界史研究、発展地理、倫理、
数学探究A、数学B、化学基礎研究、生物基礎研究、音楽総合、応用の書、
英語研究

スポーツ科学科

単位数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
第1学年	国語総合			現代社会	数学		生物基礎	保健	音楽/書道	コミュニケーション英語			社会と情報	スポーツ概論	スポーツ	スポーツ	スポーツ	スポーツV	スポーツ	総合演習	スポーツ	専攻実技	総合的な学習の学習	L	H	R							
第2学年	現代文B	古典A	世界史A	数学A		化学基礎	保健	コミュニケーション英語	英語表現	家庭基礎	スポーツ概論	スポーツ	スポーツ	スポーツ	スポーツV	スポーツ	総合演習	スポーツ	専攻実技	総合的な学習の学習	L	H	R										
第3学年	文系	現代文B	日本史B		政治・経済	物理基礎	コミュニケーション英語	古典講読	発展英文読解	必選C	スポーツ概論	スポーツ	スポーツ	スポーツ	スポーツV	スポーツ	総合演習	スポーツ	専攻実技	総合的な学習の学習	L	H	R										
	理系	現代文B	日本史A	数学	物理基礎	化学	コミュニケーション英語	発展英文読解	スポーツ概論		スポーツ	スポーツ	スポーツ	スポーツV	スポーツ	専攻実技	総合的な学習の学習	L	H	R													

スポーツ・・・1年次：スキー実習　2年次：キャンプ実習
3年次：水泳実習

必選C（スポーツ科学科文系）

倫理、数学探究A、音楽総合、応用の書

必選C（スポーツ科学科理系）

数学B、化学基礎研究

（ 囲いの数字は単位数）

教育課程表は予定であり、変更することがある。

普通科とスポーツ科学科の併置の特色をいかした選択科目について

普通科・スポーツ科学科の併置の特色をいかした教育課程を編成するため、幅広い進路希望の実現に向けた科目選択を可能とするとともに、充実した環境のもとでスポーツに親しみ、個性を伸ばすことができる科目を設置する。

< 主な科目 >

スポーツ概論・・・スポーツについての総合的な理解を通して、その知識を運動の主体的、合理的、計画的な実践に活用できるようにするとともに、生涯を通してスポーツの振興発展に寄与できる資質や能力を育てる。

（ 5 ） 学習指導の工夫

知識の質や量の改善とともに、学びの質や深まりを重視し、課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習や、そのための指導の方法等を充実させる取組みを図る。

自らの進路希望や学習目的に基づいて、主体的に学習を進めることができるよう、また、基本的な内容から発展的な内容を含め、生徒一人ひとりの個性と能力の伸長を図ることができるよう指導する。

確実な基礎基本の習得の上に、高度な学力の養成を図るため小集団学習等による授業展開を有効に活用する。

専門科目の展開では、実技・実習などの学習活動を充実させるとともに、各自の学習ニーズに応じたきめ細かい指導が実施できるよう配慮する。

(6) 生徒指導等の工夫

生徒の状況を的確に把握し、さまざまな課題を抱える生徒に対して、一人ひとりに応じた適切な配慮や支援を、学校全体で行う体制を整える。

普通科、スポーツ科学科併置の特性をいかした学校行事、生徒会活動、部活動や地域連携活動を活性化させる。

生徒が常に自ら誇りと自覚を持って規律正しい生活を送ることができるよう指導、支援の充実を図る。

学校行事・部活動を貴重な教育の場や機会の提供と位置付け、生徒の人間性、主体性の伸長を図る。

(7) 進路指導の工夫

生徒が自己のあり方、生き方を考え、主体的に進路を選択することができるよう、学校の教育活動全体を通じてキャリア教育を推進するとともに、生徒一人ひとりの進路希望の実現を図るため、計画的、組織的な進路指導を行う。

教育課程や学習指導と一体化したきめ細かい指導や進路希望に対応したガイダンス機能の充実を図るなど支援体制を確立する。

(8) 学校経営

学校教育計画に基づき、学校評価や第三者評価の報告をいかすなどして、一層充実した自律的・組織的な学校経営に取り組む。

7 施設・設備の整備

普通科及びスポーツ科学科の教育の展開に必要な施設・設備の整備を行う。

8 その他

普通科及びスポーツ科学科の教育の展開に必要な職員の配置を行う。



神奈川県

教育委員会教育局指導部高校教育課
高校教育企画室高校教育企画グループ 電話(045)210-8254(直通)
横浜市中区日本大通 33 〒231-8509 FAX(045)210-8922
電話(045)210-1111(代表) 内線 8255・8256